

< 教育活動報告 > **臨地実習を振り返って** 教務係長 高田 恵美子

看護教育において 3 年間の学生生活 ( 3015 時間 ) は臨地実習が 1035 時間を占めます。学びの 1/3 が臨地実習と言っても過言はありません。3 年生の実習は 630 時間といかに看護教育において臨地実習が重要であるのかが分かります。臨地実習では、高校までの学習とは異なり “ 答え探し ” の学習ではなく、状況や対象に応じて自分の思考を変容させること、自己の考えを明確に持ち、看護の対象にとって何が看護となりうるのか常に考えることが求められます。その中で、多くの学生が看護の難しさ、厳しさを学んでいます。時には本来の自分の目標を見失ったり、立ち止まったりと悩みながらも患者様を第一に考え学んでいたように思います。その学びのサポートが十分に出来なく教員もまた立ち止まり悩みながら、学生とともに学んだ一年だったように思います。

臨地実習とは本当に大変ではありますが、看護を志した者にとっては大切な学びの場であるとともにそこに看護の醍醐味があり、喜びも生まれます。常に “ 看護 ” を問い続けそして共に看護を語ることができる看護師になれるように、今後は、自らの力で歩んでほしいと思います。

**第 3 学年研修旅行「東大標本室見学から学んだこと」** (\*原文を一部略)

今回の研修旅行で東京大学の標本室を見学させていただき、普段できない貴重な体験をしました。学校の授業で学んだ病態や疾患の状態を実際に自分の目を通して学ぶことができ解剖学的な構造や奇形児、ミイラなどの見学に大きな衝撃や驚きを受けましたが、今後看護師を職業としていく上で受け止めなければならない事実であり、人間一人一人の生命を大切に尊重していくことを改めて考えるきっかけとすることができました。その上でなぜそのような状態が生じるのか、それによるリスクは何かなどを考え、援助につなげていくためには正しい知識が必要です。先生に質問されたことに自信を持って返答できませんでしたが、解剖生理は看護を行う上で基本的なことであり、もっと学習しなければと感じました。また、その疾患の事実を見るだけではなく、対象の生きてきた背景や特徴を踏まえたと看護につなげ、その人を尊重した関わりが大切であると感じました。(略)

今回の見学では、入れ墨について多くのことを教えていただき、入れ墨をしている人は怖いなど外見からその人を判断して接してしまうことがあると感じ、先入観にとらわれずに関わっていくことが看護師になる者として大切だと思いました。(略) 標本の方たちは、私達の学びのために大切な身体を提供して下さったことに敬意を持つことが大切だと感じ、学校の座学と自分の目で確かめる事実の状態とでは想像を大きく超えるものでした。

今回、東京大学という歴史のある偉大な学校の標本室で貴重な経験をさせていただき、今後、看護師として働く上で必要なことを感じたり、見出すことができました。これからも忘れずに念頭におき、標本の方々への敬意も忘れず学習に取り組んでいきたいと思いません。貴重な経験をありがとうございました。日々精進していきます。 < 3 年 C . O >

・・・ SCHEDULE ・・・ 1/26～3/6の行事・動向(含終了)

1/26(月)～2/6(金)1年基礎看護学 実習

2/6(金)富良野看護専門学校H27年度入学試験合格発表

2/12(木)富良野西中学校出前講座 2/17(木)富良野東中学校出前講座

2/16(月)～3/5(木)2年成人看護学 実習

2/19(木)山部中学校来校視察講座

2/22(日)第104回看護師国家試験 2/26(木)3年卒前研修(接遇)

3/6(金)平成26年度富良野看護専門学校卒業式 謝恩会

### 耳よりヘルシー HEALTHY トピックス

#### 厳寒期を克服する・・・運動の大切さ

冬の間は、暖かい室内で過ごそうとする気持ちが働き、ともすると運動不足になりがちです。言うまでもなく、健康な生活の3要素は、「栄養」「休養」「運動」であり季節を問いません。特に、適度な運動は、全身の血行を促進して新陳代謝を活発化し、体熱を高めるとともに免疫力を高め、風邪やインフルエンザへの抵抗力も向上すると言われます。

寒い冬でもしっかり対策すれば快適に運動することができ、それは転倒や凍傷の防止はもとより、「ウォーミングアップを十分に行う」「運動後に急に体を冷やさない」が最も重要とされます。スキー、スノーボードなどのウィンタースポーツをはじめ、ウォーキングやジョギング、勿論、室内スポーツにも億劫がらず無理なく取り組みたいものです。

+++

あ・ん・て・な

ANTENNA

+++

#### 「出前講座」本年度も実施・・・地域に根ざす専門学校として

本年度も、2月12日(木)に富良野西中学校で、17日(火)には富良野東中学校で本校の出前講座が行われます。また、2月19日(木)には、山部中学校の生徒が本校を訪れ、学内施設の見学を含めた講座が行われます。いずれも第1学年を対象とし、進路指導(キャリア教育)と関連した学習の一環として、将来の進路を幅広く考える上で地元にある看護専門学校の存在やその中身について理解を深めていただく機会として設定していただいています。例年、各学校では周到な準備、計画のもと生徒の皆さんの熱心な学習態度が見られます。3中学校のご努力に感謝し、その成果に大いに期待しております。

#### ささやき S&T・・・学生の 教員の みんなの声

S：冬休みが終わって、まだ生活リズムが戻せていません。1月はテストがたくさんあり、2月からは成人の実習が始まります。実習に向けて、少しずつ準備をしていきたいです。(2年A.K) S：今年最後の基礎実習で日々苦戦し、患者さん主体の看護を提供するのはとても難しいです。わからないことの悩みもありますが、新しいことを知ることは新鮮で、学内で行った学習や技術が生かされると達成感が味わえて嬉しいです。患者さんの個別性を考えて実践し、その学びから改善点や反省を取り入れ努力します。(1年木村菜々)

T：私が着任して半年が経ちました。もうすぐ年度末ですね。時間が経つのは本当に早いですし、看護学校の3年間はあっという間に過ぎていきます。一日一日を大切に過ごしていきたいです。(教員 田中文雄)